

2008年8月7日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮田 尚彦
(東証第二部・名証第二部・JASDAQ コード番号：7747)
問 合 せ 先 専務取締役経営戦略室長 竹内 謙式
(TEL.052-768-1211)

業績予想（連結）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2008年2月1日「業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」にて公表致しました2008年6月期（2007年7月1日～2008年6月30日）の業績予想について、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 通期の業績予想数値の修正（2007年7月1日～2008年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	12,055	1,298	1,258	769	48.55
今 回 修 正 予 想 (B)	11,700	1,055	935	470	29.65
増 減 額 (B - A)	355	243	323	299	18.90
増 減 率 (%)	2.9	18.7	25.7	38.9	38.9
(ご 参 考) 前 期 実 績 (2007 年 6 月 期 期 末)	11,643	2,101	2,202	1,158	73.10

(金額の単位：百万円)

2. 修正の理由

当社グループの主力事業でありますメディカル事業において、主力製品 PTCA ガイドワイヤーの欧米市場向け取引の減少が見込まれることを主因として、売上高及び利益について、上記の通り下方修正を実施致します。

当社グループは、海外の主軸市場である欧米市場におきましては、米国大手のアボット ラボラトリーズ社と主力製品 P T C A ガイドワイヤーの独占販売契約を 2011 年 12 月まで契約締結をしており、かつ 2010 年 12 月末までは年次で取引が増加する内容にて最低取引本数を定めております。しかし、これまで増加傾向にありました P T C A 治療（循環器系における低侵襲治療）件数は、2006 年度に薬剤ステントの安全性懸念が発生したことを契機とし、2007 年度の治療件数は米国を中心に 10%以上の減少に転じております。

このような急な環境悪化に伴い、当社グループは、2007 年度末にアボット ラボラトリーズ社より 2008 年度の最低取引本数見直しの要請を受け、現在協議を開始しております。最低取引本数の期間は 1 月～12 月の一年間をベースに組まれており、この協議の結果によっては、弊社の下期である 08 年 1 月以降の売上は、最低取引本数に準じた内容である従来予想を下回る可能性があるため、2008 年 2 月 1 日「業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」におきまして、当時の協議内容である取引本数に準じた内容に見直しを図っております。しかし、2008 年

6月期の取引数量は、2月段階に予測しておりました取引本数より、更に低い取引本数となることが判明し、売上高は前回予想を下回る見込みです。

また、営業利益は、全社において販売費及び一般管理費の費用削減に努め、前回予想より費用が減少する見込みであるものの、利益率が高いアボット ラボラトリーズ社向け製品の売上減少に伴い、売上総利益率が低下し、前回予想を下回る見込みです。

また、上記及び、営業外費用にて円高影響による為替差損1億 17 百万円の計上などを考慮し、経常利益、及び当期純利益におきましても、前回予想を下回る見通しです。

これらを総合し、通期の売上及び利益について、上記の通り下方修正を実施致しております。

なお、配当予想につきましては、変更はございません。

なお、当社グループは、現在におきましてもアボット ラボラトリーズ社と 2008 年度の取引条件について、協議・交渉を続けていますが、現在の状況を鑑みると、合意に達しない可能性が高まりつつあります。

当社グループは、このまま、アボット ラボラトリーズ社との協議が合意に達しない場合に備えて、新しい代替企業との交渉も進めております。アボット ラボラトリーズ社との契約継続、若しくは代替企業との契約締結につきましては、確定した時点にて、適宜公表させて頂く予定であります。

以上